

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
 山行計画書 (party wandering)
 山行名：「北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。」

【山行名】 北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。	
【日時】 2007年7月4日(水)～7月9日(月) 前日発 2泊3日+予備日2日+スライド予備日1日	
【目的】 合宿前に体力・自信をつける。鎖場に慣れる。日本第二位の高所の野天風呂につかる。	
【山城】 八ヶ岳	
【使用地形図】 小淵沢、八ヶ岳東部、八ヶ岳西部、蓼科、松原湖 (1/25000)	
【日程】	
前夜 (7/3) つくば(車) 観音台	
1日目 (7/4) 観音台 (2:40) 編笠山 (0:30) 青年小屋 (1:30) 権現岳 (1:10) キレット小屋	【5:50】
2日目 (7/5) キレット小屋 (2:00) 赤岳 (1:20) 奥ノ院《横岳》(1:30) 夏沢峠 (1:40) 東天狗岳 (0:15) 西天狗岳 (1:20) 本沢温泉	【8:05】
3日目 (7/6) 本沢温泉 (1:40) 本沢入口	【1:40】
4・5日目 (7/7-8) 予備日	
【現地交通機関】	
諏訪バス	0266-72-7455
小淵沢タクシー (小淵沢)	0551-36-2525
富士見高原タクシー (富士見)	0266-62-2381
アルピコタクシー (茅野)	0266-71-1181

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
 山行計画書 (party wandering)
 山行名：「北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。」

【山小屋・避難小屋情報】

	幕営数 (収容人数)	水場	現地連絡先
観音台グリーンロッジ	5(80)	○	0551-36-3125
青年小屋	30(150)	○	0551-36-2251 090-2957-9720
権現小屋	×(50)	天水	0551-36-2251 090-2957-9720
①キレット小屋	15(100)	○	0467-87-0549
赤岳頂上小屋	×(300)	天水	0467-87-0549 090-2214-7255
赤岳展望荘	×(300)	天水	0266-58-7220
(行者小屋)	200(200)	○	0266-74-2285
(赤岳鉱泉)	300(250)	○	0266-72-3939
(美濃戸山荘)	10(100)	○	0266-74-2270
硫黄岳山荘	×(250)	○	0266-73-6673 090-3142-8469
山びこ荘	×(40)	天水	0266-72-3260
(オーレン小屋)	30(200)	○	0266-72-1279 090-1549-0599
(夏沢鉱泉)	×(50)	○	090-4158-4545
根石山荘	×(100)	○	0266-73-6673 090-4158-4544
②本沢温泉	25(170)	○	090-3140-7312

【概念図】

別紙参照

【荒天対策】

入山しない、引き返す、ビバーク、停滞、山小屋・避難小屋の利用、スライド予備日の利用
 エスケープルート

ER1: 編笠山カット (-0:40)

ER2: **【横岳・硫黄岳ショートカット】**

赤岳 (文三郎道経由 1:20) 行者小屋 (中山展望台ピストン含む 2:40) 赤岩ノ頭 (1:00) 夏沢峠

ER3: 赤岳 (文三郎道経由 3:50) 美濃戸口

ER4: 赤岳 (真教寺尾根経由 4:00) 美し森 ※悪天時は使用しない

ER5: 地蔵仏 (地蔵尾根経由 4:00) 美濃戸口

ER6: 三叉峰 (2:00) 海ノ口登山口

ER7: 赤岩ノ頭分岐 (赤岳鉱泉経由 3:55) 美濃戸口

ER8: 夏沢峠 (夏沢鉱泉経由 1:05) 桜平

ER9: 西天狗岳 (1:55) 唐沢鉱泉

ER10: 赤岳 (中岳経由 4:20) 美濃戸口

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
山行計画書 (party wandering)
山行名：「北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。」

【団体装備】

- テント一式 (本体、フライ、ポール) × 2 団マット × 2 ガスヘッド × 2 ガスボンベ × 3 (1120g)
 ガソリンストーブ × 1 ホワイトガソリン × 0.50 団コップェル × 2 無線機 ラジオ
 天気図用紙

【個人装備】



- ザック ザックカバー 雨具 シュラフ シュラフカバー 個マット 登山靴
 防寒着 着替え 帽子 日焼け止め ヘッドランプ ライター トイレットペーパー
 ビニール袋 軍手 ポリタンク (20) 個コップェル ナイフ コンパス レーション 笛
 非常食 非常用パック 医療用パック 計画書 地形図 保険証 腕時計 携帯電話
 学生証 細引き 新聞紙 米 合 お金 筆記用具 お風呂セット


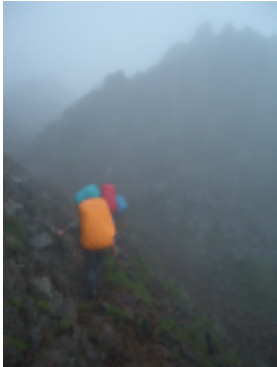
【食料計画】

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
朝	個	団	団	(団)	(団)
昼	個	個	個	(個)	(個)
夕	団	団	(団)	(団)	

個：個人食料 団：団体食料 () がついているものは予備食

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
 山行報告書〈party wandering〉
 山行名：「北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。」

山行名：北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。			
日程：2007年7月4日（水）～6日（金）2泊3日			
C.L.：佐々木（3年）			
メンバー：原田（2年）、高須（1年）、越後谷（3年）、大石（3年）、吉川（3年）、塩谷（3年）、広沢（3年）			
日時	場所	天候	状況・判断
前日	つくば 発 観音平	曇	佐々木車と原田車でアプローチ 観音平到着後、1台を下山口に置いておく計画だったが、佐々木車のガソリンが少なくて片道でも下山口まで行くことは難しく、深夜でガソリンスタンドも開いてなかったため、途中にある駅に佐々木車を置いておくことにした。
1日目			
7:05	観音平 発		
7:46	雲海展望台		樹林帯。 
10:11	編笠山山頂		編笠山付近で 9:55 に高須が足をつった。 前日の睡眠不足と疲れが残ってことが原因だと思うが、しばらく小休止したら歩けるようになった。 編笠山山頂からは曇ってて展望はなかった。 

10:37	発		
11:00	青年小屋	雨	青年小屋手前は大きな岩がころがる岩場になっている。 雨が降り始めてきたので雨具を着た。
11:25	発		
11:50	ノロシバ		ノロシバ以降はかなり鎖場が続く 
12:45	権現小屋		大石の足にガラスの破片が刺さっていた。 刺抜きがなかったため、佐々木が持っていた安全ピンで抜いて歩けるようになった。
13:08	発		
15:20	キレット小屋		テントの中で今後、エスケープするかどうかを判断した。 2日目、三叉峰に10時までに到着しなかったらエスケープすることにした。
2日目			
4:20	発	曇	
6:20	赤岳	雨	赤岳付近は鎖場、ガレ場が続く。  また、この日は風がかなり強く吹き飛ばされそうだった。

7:04	発	曇	赤岳頂上小屋に入らせてもらって大休止した。
8:16	三叉峰		10時より前だったため、進むことにした。 横岳は鎖場が多く、かなり慎重に進んだ。
			
10:11	硫黄岳		硫黄岳も展望なし。 ただの広い山頂だった。
12:38	東天狗岳		高須が体調不良だったため、高須と吉川だけ残り、残りは西天狗岳を空身でピストンすることになった。
			もちろん展望なし。
12:58	西天狗岳		展望なし。
			
14:55	本沢温泉		テントをたてた後、日本第2位の高所の露天風呂「雲上の湯」につかる。 脱衣所なし、大展望の露天風呂だった。 晴れてたらきれいだっただろう。

筑波大学体育会ワンダーフォーゲルクラブ
 山行報告書〈party wandering〉
 山行名：「北ア行けなくても僕たちには八ヶ岳があるさ。」

<p>3日目 5:30 発 7:30 ゲート</p>			 <p>ゲートに着いたとき、佐々木が自分の車の鍵を原田車に忘れていたことに気づき、結局登山口まで戻るようになった。</p>
---	--	--	---

アプローチ：

つくば⇒（常磐自動車道）⇒三郷 JCT⇒（首都高）⇒八王子 JCT⇒（中央自動車道）⇒小淵沢 IC⇒県道 11 号⇒観音平

反省、感想、今後の課題：

- ・ 忘れ物が多かった（鍵、時計、予備電池など）
- ・ 車にガソリンが入っていないのは問題。
- ・ エスケープルートをおぼれるなど、事前の調べに問題があった（計画までに時間が無かったこともあるが）
- ・ 新人はよく動いていた。
- ・ ガレ場に時間がかかってしまった。
⇒慣れていないのが原因
- ・ 天候判断などあって長期のプレ合宿としてはかなりよかった。
- ・ 医療用パックを見直す必要がある（刺抜き、創傷被覆材など）
- ・ S.L.はいいペースで歩いていたが、後ろもチェックする必要がある。
- ・ 落石が多かった。
⇒まずは落とさないこと。落ちておぼけるようにフォールラインを避ける、上に注意を配るなどをする
- ・ 本沢温泉は予想通りかなりよかった。
- ・ 天気がよくなかったのが心残り。